

# set vol.1

医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院広報誌

特集

当院のリハビリテーションを紹介します！

## いろいろリハ

在宅生活を支える3つの病棟の働きとは？

## 当院の病棟紹介

コラム

当院の栄養士監修！

## オススメレシピ

# 新任医師のごあいさつ



リハビリテーション科 入澤 寛

平成15年浜松医科大学卒業。専門は整形外科・リハビリテーション科。浜松労災病院、遠州病院診療部部長を経て、平成28年4月より当院のリハビリセンター長として勤務。

このたび、着任させていただきましたリハビリテーション科医師の入澤です。これまでの経験を生かして、みなさんの在宅復帰をお手伝いさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

脳神経外科 村上 秀喜



平成5年帝京大学卒業。専門は脳神経外科。帝京大学病院、三井記念病院、都立神経病院、帝京溝口病院を経て、平成28年4月より当院の回復期リハビリテーション病棟に勤務。

私が小さい頃、ここには乗馬学校があり、高架下の道を馬が歩いていました。今では患者さんと一緒に歩く療法士の姿を目にし、時代の流れを感じます。卒業後現在まで手術が中心の生活を送ってきました。前半の十数年は急性期疾患の手術、後半の十年はてんかんの外科治療を専門に行ってきました。慢性期疾患診療はまだ不慣れなところもありますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



整形外科 安藤 美樹子

平成16年聖マリアンナ医科大学医学部卒業。専門は整形外科。横浜新緑総合病院、アットホーム目黒クリニック院長を経て、平成28年4月より当院の回復期リハビリテーション病棟に勤務。

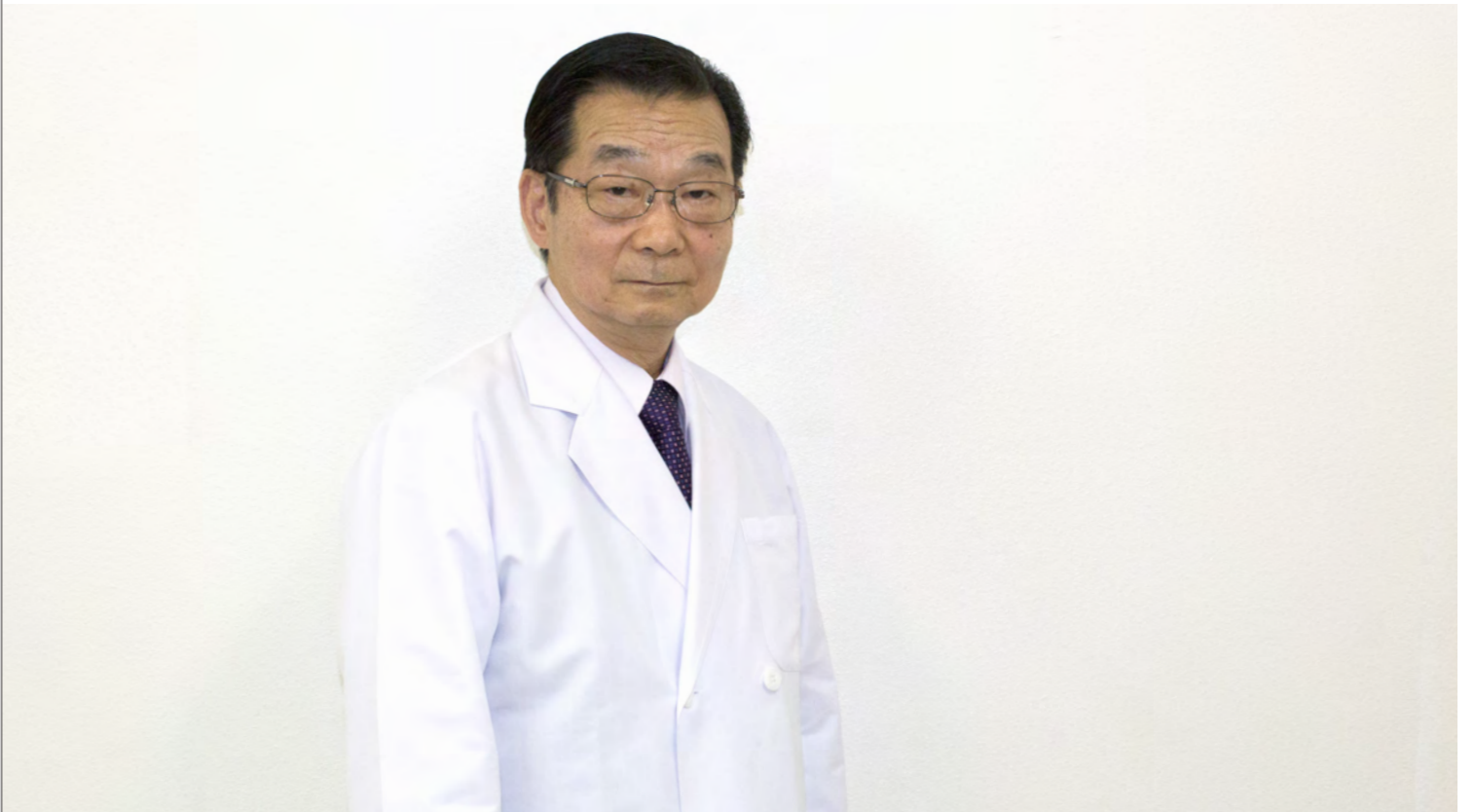
4月より整形外科に勤務します、安藤です。なるべく専門用語を使わずに患者さんにとって、わかりやすい説明と治療ができるよう心がけたいと思っております。よろしくお願いいたします。

広い視野を持って、  
総合的な医療を提供します。

院長 杉本 元信

ニーズに応える3種の病棟

超高齢化社会を迎えた昨今、医療サービスのあり方が種々議論されています。当院は、平成24年に医療療養と回復期リハビリテーションに特化した病院として開設されました。平成26年からは地域包括ケアを加え、3種類の病床機能を發揮して利用者ニーズに応えることができるように日々努力しています。具体的には、急性期病院や診療所、施設と連携を保ち、患者さんおよびご家族の要請に応じて早期に入院を受け入れ、退院可能な患者さんには積極的に退院調整を行い、円滑に病床が利用できるように心掛けています。当院に入院される患者さんの多くはすでに診断がついていて、治療目的で来られますが、一方で原因不明の発熱などで入院される方も少なくありません。ご高齢の方は概して複数の疾患をかかえ、多種類の薬を使用されています。当院は内科・整形外科・リハビリテーション科を標榜しておりますが、それぞれの専門にこだわらず、広い視野で総合診療的な医療を実践することを目標にしています。また、当院は患者さんとご家族を円を中心に、多職種からなる医療チームがその円を取り囲む形で日々の業務に励んでおります。ご利用の際、ご紹介いただく際には、ご参考にしていただければ幸いです。



## 3種類の病棟で 受け入れしています!

# 2

日数が決まっているもののどなたでも入院できる「地域包括ケア病棟」  
積極的なリハビリと治療で早期在宅復帰を目指す「回復期リハビリテーション病棟」  
中長期的な治療とリハビリを提供する「医療療養病棟」  
この3種類の病棟があっはじめて  
地域の在宅患者さんを支える病院になれると考えています。  
当院ではこの3つの病棟をご用意しており、  
それぞれの病棟が協力しあって在宅支援機能を高めています。

## さまざまな段階の リハビリテーションを提供!

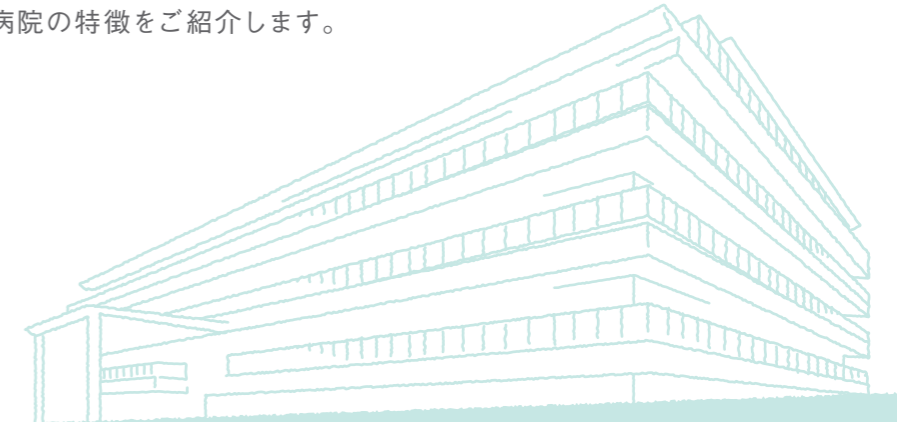
# 3

「リハビリテーションが必要ない患者さんは存在しない」という考えに基づき、  
すべての病棟で積極的なリハビリテーションを行っています。  
それぞれの病棟の患者特性や制度に応じた、  
最適なリハビリテーションをつねに考え実践しています。  
3種類の病棟でリハビリテーションに取り組むことで、  
それぞれの病棟のリハビリテーションに良い化学変化が起きています。

# 世田谷記念病院って どんな病院?

*What hospital is it setagaya memorial hospital?*

どうしてできたの?なにをしているの?  
そんな疑問に答える、世田谷記念病院の特徴をご紹介します。



## 在宅生活を支えるために できた病院!

# 1

当院は平成24年に世田谷区野毛に開設した入院医療を中心とした病院です。  
急性期病院での治療終了後、ご自宅や施設で生活する高齢者のみなさんの  
「在宅生活を支える」という目的のために設立されました。

- ①PAC (Post Acute Care) 急性期治療を終えた患者さんの受け入れ
  - ②SAC (Sub Acute Care) 在宅患者さんの緊急受け入れ
  - ③長期療養機能病状の悪化により在宅生活の継続が、  
どうしても難しくなった患者さんの受け入れ
- この3つを中心に在宅支援へ積極的に取り組み、地域の在宅生活を支えます。

## 在宅分野での取り組み

# 8

患者さんが安全で安心できる在宅生活を継続できるよう、外来リハビリテーション、デイケア・デイサービス・訪問リハビリテーションを提供しています。在宅生活での不安や問題点に直結したリハビリテーションの提供やアドバイスなど、患者さんのより良い在宅生活を支援します。

## 摂食嚥下リハビリテーション

# 9

高齢者は疾病などで状態が悪化した場合、嚥下(飲み込み)機能が低下し疾病は治癒したものの、食事ができず在宅復帰できない状態になることがあります。そうしたことを防ぐため、言語聴覚士(ST)を中心に入院後早期から嚥下機能を評価し、適切な食事機能訓練を行なっていきます。

## 膀胱直腸機能 リハビリテーション

# 10

尿意・便意の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰を目指すリハビリテーションにおいて、摂食嚥下と並ぶ最重要課題のひとつです。自らの意志で、自らトイレで排泄を行う。この当たり前の行為を入院後早期から行っていただけるように全力でサポートしています。

## ホームワークの推進

# 11

個別や集団のリハビリテーション以外の時間を有効に活用していただくため、積極的に取り組めるよう一人ひとりに応じたホームワークを担当スタッフが考え提案しています。体を動かす時間を増やしていくことで、早期退院へつながります。

## 総合的な リハビリテーション視点

# 4

理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)はそれぞれの職種の専門性を高めながら、お互いを知り・認め、そして情報を共有しています。特に在宅のリハビリテーションでは患者さんの異常や問題を発見することもあり、その場ですぐに対応策を提案できるよう常に総合的な視点でリハビリテーションを提供しています。

## 個別リハビリテーション

# 5

理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)が個別リハビリテーションを実施します。運動機能や認知機能、嚥下機能など患者さんの状態を総合的に評価し、一人ひとりにあったリハビリテーションを集中的に提供することで在宅復帰をサポートします。

## 集団リハビリテーション

# 6

治療のための安静による廃用症候群を防ぐため、当院では人とのふれあいや楽しみの要素を取り入れた小集団(5~10名)でのリハビリテーションを行っています。1日1~3時間、スタッフがさまざまなプログラムを提供し、運動や認知機能の低下の予防と回復をサポートします。

## Rehabilitative Intervention for Daily Living (RIDL)

# 7

トイレや更衣、歩行など、日常生活のなかで介助が必要な動作について、リハビリスタッフがピンポイントで専門的に関わります。個別・集団リハビリテーションに加え、一人ひとりに必要な動作への絞ったこの取り組みは、目標とする動作の早期獲得を可能とし、退院へと導きます。

## 離床への取り組み

# 1

入院生活の一番の問題は治療のための安静によりもたらされる廃用症候群であり、当院ではこれを防ぐために徹底した離床に取り組んでいます。趣味や娯楽を取り入れ楽しみを目的とする離床や、生活行為に直結する目的のある離床を行い廃用予防に努めます。目的を持って離床を行うことは、運動や認知機能の低下を予防するとともに回復への最大の近道となります。



## 24時間 365日 リハビリテーション

# 2

どんな時でもリハビリテーションを提供します。当院では、週に1回夜間の患者さんの動作にアプローチを実施しています。夜間のトイレ動作や移動は転倒などのリスクも高く、介助に入ることによってリスク回避や機能向上につなげていきます。退院後の生活環境や介助法を検討するうえでも夜間の状況把握は大切です。



## 多職種協働と退院支援

# 3

リハビリテーション効果を最大限に引き出すために、医師はもちろん看護・介護や栄養部などさまざまな専門職と強力なチームを形成し、全力で在宅復帰へ向け支援します。退院にあたってはソーシャルワーカーやケアマネジャーと協力し、社会資源の活用や介護福祉サービスについて情報提供とご提案をいたします。



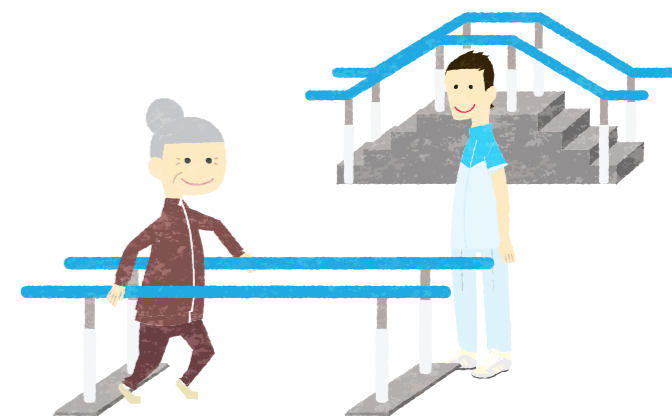
ABOUT REHABILITATION

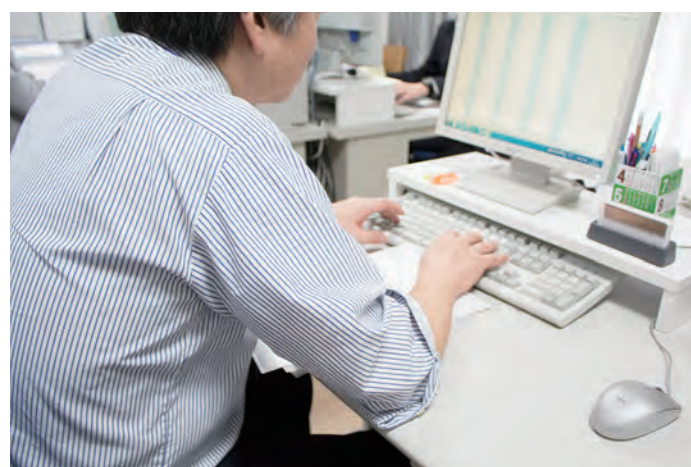
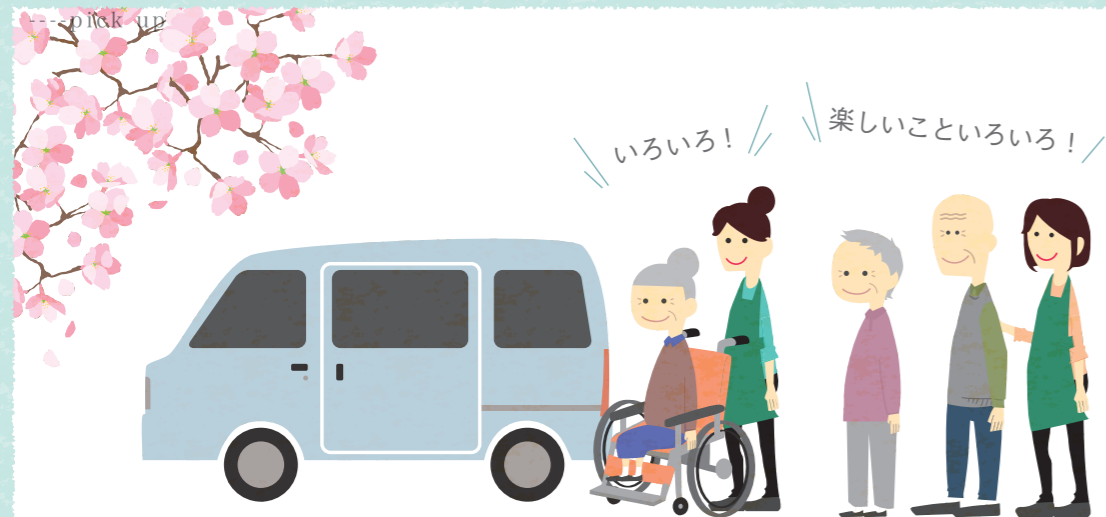
いろいろ

リハ

当院ではリハビリテーションを特に重要視しています。高齢の患者さんの場合、急性期治療を終え入院された患者さんの日常生活動作(ADL)は病前と比較し著しく低下しています。在宅復帰のためには十分なリハビリテーションが必要です。

地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟での充実したリハビリテーションにより在宅復帰を目指すことはもちろん、退院後も訪問リハビリテーションや外来リハビリテーションなどの在宅部門にも力を入れ、安心できる在宅生活を支えます。





### new 3 外出リハビリテーション 開始しました!

公共交通機関を使用しての通勤シミュレーションやショッピングモールでの買い物訓練、カフェで注文からお会計までの訓練、自宅の台所を使用した調理訓練など、患者さんごとに必要な課題を、「どうすればクリアできるか」を可能な限り実際の環境に近い形で確認を行います。これにより退院後に想定外の困りごとが生じる可能性を減らしたり、困ったことが起きた時の具体的な解決方法を退院前に共有することができます。

「仕事に復帰したい」「主婦として家事をこなしたい」「近所の馴染みの店で買い物がしたい」「家族と映画を観に行きたい」。どうすれば「したい」を実現できるかを一緒に模索し、生活のクオリティを意識した退院支援として取り組んでいきます。

#### 外出リハビリテーション内容

- ・公共交通訓練
- ・自宅での家事訓練
- ・ショッピングモールでの買い物などの訓練
- ・職場環境での復職に必要な動作の確認

など



### new 1 体成分分析装置 「inbody」導入しました!

身体の筋肉量・脂肪量・水分量などを測定できる機器です。体幹や四肢ごとに筋肉量や水分量が測定できるので、リハビリと栄養の効果を明確にすることが可能になったり、浮腫の状態と経過を把握することも可能です。血液検査やBMIでの評価だけでなく、筋肉量を把握することでエネルギー量やタンパク質、その他アミノ酸付加等の検討が可能になります。また、従来の機器は立って測定する必要がありましたが、今回導入するものは寝たままでも測定が可能なものなので、座位や立位が困難な方に対しても測定と適切な浮腫管理や栄養・リハビリのアプローチが可能になります。

平成28年4月より  
導入開始!



### new 2 リハビリ用ロボットスーツ 「Honda 歩行アシスト」 導入しました!

今年1月から導入された、リハビリ用のロボットスーツです。車で有名なHONDAがロボットASIMOで培った歩行理論をもとに、効率的な歩行をサポートする歩行訓練機器です。歩行時の股関節の動きを左右のモーターに内蔵されたセンサーで検知し、コンピュータがモーターを駆動します。股関節を曲げる脚の振り出しの誘導と股関節を伸ばす脚の蹴り出しの誘導を行います。また、連続歩行だけでなく、リハビリとしてステップ練習も可能です。対象は歩行時に脚が振り出しにくい方や伸ばしにくい方が適応です。



# 回復期リハビリテーション病棟

1日の全てがリハビリテーションにつながるような生活を提供し、  
早期の在宅復帰を目指します。

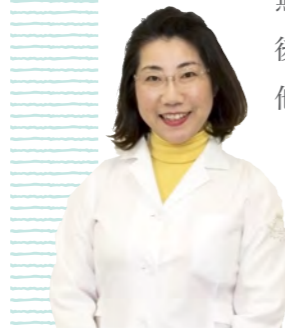
## 病棟スタッフ

明るく楽しく!笑顔でしっかりサポートします!



ご本人の病状だけでなく、ご家族の身の周りのお世話や生活面のサポートについても、お困りの際はご相談ください。

医師 平田 剛史



無理なく長く暮らすことが出来る退院後の生活に向け、機能や体力回復の他に内科管理のお手伝いをいたします。

医師 秦 弘恵



各職種の専門性を活かし、充実したリハビリ生活が送れるよう、在宅・社会復帰にむけた支援に努めます。

看護師長 岩田 明日香



その人らしい生活に戻れるよう、チームアプローチでのリハビリ・在宅支援を行っています。

看護師長 森 あゆみ

# 世田谷記念病院には どんな病棟があるの？



いろいろな病棟があるみたいだけど、  
それぞれがどんな病棟なのかわからない。  
そこで今回は病棟についてとそこで働くスタッフをご紹介します!

# A 急性期病院で治療が終わっても、 リハビリテーションと治療が 必要な時！



回復期リハビリテーション病棟  
に入院する方の多くは、急性期病  
院で治療を終えたものの、すぐ  
ご自宅へ復帰するには不安があり、  
引き続きの治療とリハビリテー  
ションが必要な方です。ほかに、  
診療所からの紹介で入院の必要が  
あると診断された方が対象とな  
ります。この病棟では、入院する全  
ての方に、疾患を発症する前の状  
態や生活の様子を入院時にお伺い  
しています。そして、「発症以前  
の状態まで回復」を目標として治  
療とリハビリテーションを行いま  
す。もちろん、疾患や障がい程度、  
回復の程度などは個人差があります  
が、スタッフと患者さん、そして  
ご家族と協力し合い、患者さんの  
回復を全力でサポートします。

回復期リハビリ  
テーション病棟

# Q どういう時に 入院するの？



# A 病状や回復の程度により 異なります！

回復期リハビリテーション病棟は  
入院できる日数に期限があります。  
入院時に一人ひとりの状態や希望  
をお伺いし、個別の退院目標の設  
定を行います。期限日より前に希  
望や目標に到達することができれ  
ば、その時点で退院の検討を進め  
ます。長期入院となるときには、  
施設への入所へ向けた調整も行い  
ます。退院後も一人ひとりのご都  
合に合わせて、ふさわしいケアをご  
提案します。

回復期リハビリテーション病棟

# Q 入院期間は どのくらい？

## 地域連携室をご利用ください

退院後のケアについて  
お気軽にご相談ください

03-3703-5100

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 日曜以外

回復期リハビリテーション病棟

# Q 入院すると どんな一日？

# A 1日の行動のすべてが リハビリテーションに つながっています！

起床

着替え

トイレ

朝食

歯磨き

リハビリ  
(理学療法)

リハビリ  
(言語療法)

昼食

歯磨き

リハビリ  
(作業療法)

入浴

夕食

歯磨き

トイレ

着替え

就寝



可能な限りトイレで  
用を足して生活動作を  
鍛えます！



スタッフの  
サポートを受けながら、  
食堂で食べます。

多摩川が見える  
明るい食堂です！



歩行などの  
基本動作を鍛えます。



スタッフの指導を  
受けながら食後の  
歯磨きをします。



言葉や飲み込みなど  
を訓練します。



身体の状態に合わせて  
入浴方法をかえるので、  
安心して入れます。



手を使った運動など  
細かい動きを訓練します。

生活に必要な動作を  
中心にさまざまな  
リハビリを受けます。

地域包括ケア病棟

# A 在宅復帰が目的で 治療とリハビリテーションが 必要な方ならどなたでも!

レスパイトケアやご自宅または施設で急に具合が悪くなった方、急性期病院にて症状が安定したもののすぐに在宅復帰することに不安な方や症状に不安があり集中してリハビリテーションを受けたい方など、患者さんの疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れを行います。そして、安心して在宅復帰ができるように、患者さんが持つ疾患に対する治療はもちろん、患者さんの在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供しています。また、退院後の生活に合わせ、施設紹介や訪問介護、デイサービスなどの介護サービスのご提案等を行っています。

## Q どんなときに 入院するの？



# 地域包括ケア病棟

急性期病院からご紹介の患者さんの受け入れはもちろん、ご自宅や施設で肺炎や発熱等で体調を崩された患者さんも受け入れします。

### 病棟スタッフ

患者さんが安心して退院できるようスタッフみんなで協力して支えます!



地域包括ケア病棟

## Q 入院期間は どのくらい？

60日以内での退院を目指し、1日に個別リハビリテーション2単位(40分)以上の提供や、日常生活に関わる動きを中心としたリハビリテーション(RIDL)の提供など、積極的に取り組んでいます。また、患者さん一人ひとりに合わせた退院支援を行うために、病棟に退院支援を専門とする看護師、社会福祉士を配置しています。また、患者さんの体調や身体状況によって、長期的な治療が必要になったときは当院医療療養病棟への転棟も可能です。

# A 60日以内の 退院を目指します。

### 地域連携室をご利用ください

退院後のケアについて  
お気軽にご相談ください

03-3703-5100

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 日曜以外

患者さんの希望に可能な限り沿うことができるスタッフを目指し、一同努力していきます。

医師 児玉 圭司



早期のご自宅退院を目指して、スタッフと共に患者さんをお支えいたします。なんでもご相談ください。

医師 四ヶ浦 京子



患者さん・ご家族のお気持ちに沿った治療を心がけております。

医師 志村 陽子



患者さんとご家族が安心できるように、明るく楽しく力強い在宅支援ができるスタッフが揃っています!

看護師長 渡部 美穂





# A 中長期的な治療が 必要であれば、 誰でもご相談ください!



急性期の治療が終了した後も引き続き治療が必要な方が、主な入院の対象になっています。また、ほかの回復期病院や在宅系施設からの受け入れも行っています。重症の患者さんや呼吸器をつけられた方はもちろん、ターミナル(終末医療)の患者さんも入院しています。基本的に、人工透析が必要な方以外は、お受け入れしています。気になる方やご利用を考えている方は、まずお気軽にご相談ください。また、当病棟は長期入院だけではなく、在宅復帰を目指す病棟でもあります。ご自宅もしくは施設への復帰を目標に、その方に適したリハビリテーションと治療を行い、早期の在宅復帰を目指します。

## 医療療養病棟

# Q どんなときに 入院するの？

## 医療療養病棟

# Q どんなリハビリ をしているの？

1対1で行われる個別のリハビリテーションではそれぞれの患者さんに合わせたプログラムを提供しています。患者さんみなさんで行う集団でのリハビリテーションでは積極的に離床を促し、みなさんで一緒に行う体操やレクリエーションを主に行っています。

# A 個別リハビリテーション 集団リハビリテーション があります。



# 医療療養病棟

高度急性期病院での治療が終わったものの、すぐに在宅復帰できない患者さんに対して、集中的な治療と積極的なリハビリテーションを行っています。

## 病棟スタッフ

明るく楽しく!一緒に悩んで、一緒に歩みます。



老年者の特徴は病気が一つでない事です。修得した知識を生かして地域医療に役立てたいと思っています。

医師 平井 眞明



病状に応じて、より良い療養生活が提供できるよう多職種が協力して真摯に診療に取り組んでいきます。

医師 前田 朝美



在宅・施設への復帰を目指し、チーム一丸となって頑張っていきます。

看護師長 松下 公子



誰でも  
出来ちゃう  
簡単健康レシピ

# オススメ

easy healthy Recipes  
that nutritionists teach!

当院の栄養士監修!

# レシピ

## メニュー

## 南瓜のそぼろあんかけ

### 材料

(2人前)

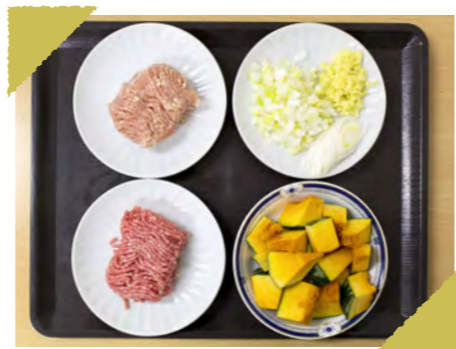
かぼちゃ	…200g	A	しょうが	…30g
豚ひき肉	…80g		白だし	…大さじ2
鶏ひき肉	…80g		水	…50g
長ねぎ	…20g		みそ	…大さじ1
			片栗粉	…小さじ1
			水(片栗粉用)	…少々

### コレが効く!

しょうがは体を温め、発汗作用があります。  
かぼちゃも体を温める作用があり、胃にも優しく、  
胃痛や便秘を解消するとも言われています。  
そして、ビタミンB1を含む豚肉を使用することで、  
疲労回復にも効果的!!

## 作り方

- 1 かぼちゃはわたと種をスプーンで取り除き、一口大に切る。  
さっと水にさらして、耐熱容器に入れてレンジに4~5分程かける。
- 2 長ねぎとしょうがをみじん切りに切る。
- 3 鍋にAを入れて火にかけ、煮だしたら豚ひき肉と鶏ひき肉  
を入れて色が変わるまで煮る。
- 4 ③にねぎを入れてさらに煮る。  
2~3分煮たら、水にといた片栗粉を入れ、とろみをつける。
- 5 ①を器に盛り、④をかけて長ねぎを散らして仕上げる。



使用材料



手順4の様子

教えて!

# 地域連携室

私たちがお答えします! /



病院について気になることを  
何でも解決します!  
分からないことがあれば、  
いつでもお気軽にお声がけください。

## 03-3703-5100

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 日曜以外

## Q 地域連携室って どんな人がいるの?

地域連携室では、地域に根ざした医療・介護サービスの提供ができるよう、病院・診療所・施設やケアマネジャー・訪問看護等の関係機関と円滑な連携が行える体制づくりに努め、患者さんの受け入れ(前方支援)と退院に向けての支援(後方支援)を行っています。患者さんを受け入れる前方支援として看護師が3名、後方支援としてソーシャルワーカーが4名と退院支援看護師が4名おり、病棟所属として他職種との連携を図りながら退院支援を行っています。前方支援・後方支援ともに看護師がいるため、より専門的な

A 退院支援を専門とする専門の看護師とソーシャルワーカーが在籍しています。

知識のもと、必要なサポートの提供を行っています。  
入院についてや在宅生活についてなど、不安なことがあれば、ぜひお気軽にご相談ください。

お気軽に  
ご相談ください!



専属看護師長  
石井 浩子

世田谷記念病院で一緒に働きませんか？  
ぜひお気軽にお問い合わせください！

業務拡大により

# スタッフ 募集中

お気軽にお問い合わせください

くわしい情報と参加お申し込みは、  
当院ホームページをご利用ください！

## 病院見学会開催中！

当院では就職ご希望の方対象に  
病院見学会を毎月行っています。  
ぜひお気軽にご参加ください！

毎月最終日曜日に開催しています。  
2時間程度のご案内で、  
当院の概要や機能について  
ご紹介いたします。



世田谷記念病院

検索

### ■ 基本理念

生活に密着する地域中核病院としての役割を果たすべく、  
患者さんとご家族の立場に立った親切・安全な専門医療を提供します。

### ■ 基本方針

- ・リハビリテーションの専門病院として総合的リハビリテーション機能を果たします。
- ・高度急性期医療を引継ぐ回復期から慢性期に相当するすべての患者さんに根拠に基づく医療 (EBM) を提供します。
- ・終末期の患者さんにも個々に最善の医療を継続します。
- ・専門多職種によるチーム医療により専門性の高い医療を提供します。
- ・地域の在宅療養支援を総合的にを行います。
- ・医療水準向上への研鑽を支援し、先進的かつ高度な医療導入に努めます。



- 診療科目 内科・整形外科・リハビリテーション科
- 診療時間 月～土曜 午前 9:00～12:00  
※曜日によって変動があります
- 休 診 日 月～土曜午後・日曜祝日・年末年始

〒158-0092 東京都世田谷区野毛2丁目30番10号  
Tel.03-3703-5100 Fax.03-3703-7730  
www.setagayahp.jp info@setagayahp.jp

